

補助金評価シート（H26終了分）

区分	補助根拠	法令補助	・(その他補助)	開始時期	平成26年4月1日	終期	平成27年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	住民バス運行費補助金 新潟市内における地域住民の生活交通の確保を図るため、路線バスが廃止になった地域や、公共交通空白・不便地域の住民組織が主体となって取り組むバス又は乗合タクシーによる代替輸送事業（住民バス）に対して支援を行う。						
款・項・目	土木費 都市計画費 都市計画総務費						
所属等	都市政策部 都市交通政策課 地域交通整備室 電話025-226-2730						

年 度		26年度（1年目）		年度（2年目）		年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	78,982					
	決算(千円)	74,399		0		0	
補助率		63%					
目 標		平成26年度11地区 （地元住民が主体となって、公共交通の利用を促進し、必要最低限の生活交通を確保することを目指す。） <目標が数値でない場合の評価方法> 公共交通空白・不便地域の解消					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	平成26年度は11地区で15ルート の住民バスが運行され、1 ルートで平日の増便運行が実 現したことから、公共交通空 白・不便地域の解消が図ら れ、利便性が向上した。					
補助事業者による情報の公表		車内に掲示 又は 交通事業者ホームページ					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか		e. 指標の推移が維持・向上しているか	
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	
		c. 補助額が5万円以上になっているか		g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)		h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 利用促進PRなどを積極的に実施することで収支率の向上を図り、補助率が1/2以内となるように取り組む。 <g～hにおける取組> 補助金の成果をより分かりやすく検証するため、補助事業の目標である「公共交通空白・不便地域の解消」を客観的に評価できるよう、住民バスの運行距離や利用者数などの数値による指標化について検討する。			
目標未達成の原因分析	<目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他）		継続		廃止	
～ の評価理由 目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 住民バスは自家用車を利用できない高齢者などが日常生活に利用する公共交通として定着していることから、利用促進PRなどに積極的に取り組みながら、引き続き補助金を継続していく。					